

サン・燐・参加でソーラーパネル

福山市矢田町内会



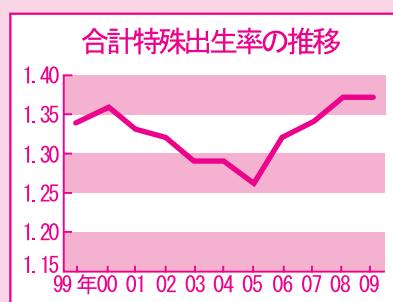
◆海水温16年で0.1℃上昇 大気なら30℃分の熱量
気象研究所の国際研究チームは、地球全体の海の平均水温が、93～08年の16年間で約0.1度上がったとの分析結果を発表した。この上がった分の熱で大気を温めれば気温は約30度上昇する。大気に比べ膨大な熱を蓄える海の温暖化を精密に解明した結果で、将来の気温上昇の正確な予測に役立つという。

水深100～700㍍の海水温は、16年間に約0.08～0.12℃の範囲で上昇し、海面1平方㍍あたり約0.64ワットの熱が加えられたことに相当することが分かった。海水温の上昇は以前から指摘されていたが、上昇の幅は0.04～0.15℃と研究によって3倍以上異なっている。また、国連の「気候変動に関する政府間パネル」によると、地球の平均気温は1906年からの100年間で0.74℃上昇しているが、気温は天候の影響で変化が激しく、急な変化の少ない海水温の動向が温暖化の進行を把握する鍵になっている。(6/1)

◆2009年、出生率横ばい1.37

厚生労働省が発表した人口動態統計によると、2009年の合計特殊出生率は前年と同じ1.37だったことが分かった。05年に1.26と過去最低になって以降、3年連続して上がっていたが、少子化の改善傾向が止まった。08年秋以降の深刻な不況で、結婚や出産を控える女性が増えたためとみられる。

出生数は107万人で前年より2万1千人減少した。15～34歳では各年齢層で出産が減っていたが、35～49歳では増えている。第1子出生時の母親の年齢も29.7歳と17年連続で



上昇しており、晩産化の傾向が進んでいる。

婚姻数は70万7,824組で前年より1万8,282組減少し、平均初婚年齢は夫が30.4歳、妻が28.6歳で、それぞれ前年より0.2歳、0.1歳上がり、晩婚化が進んでいる。(6/3)

◆がん死亡者、3年で6%減

厚生労働省が発表したがん対策推進基本計画の中間報告書によると、75歳未満でがんによる死者が3年間で6%近く減少したことが分かった。基本計画は「10年で20%減」を目指しており、同省は「達成できるペース」とする。

中間報告書では、高齢化の影響を排除するため、75歳未満での年齢調整したがんの死亡率は、基本計画策定時点での年齢調整したがんの死亡率は、80年は94.4で、5.6%減少した。同省は「がん拠点病院の整備などが影響したのでは」と推測するが、がん対策推進協議会では「治療技術の進歩などで、死亡率は基本計画策定前から年2%程度減少しており、『10年で20%減』の目標が低すぎる」などの厳しい声もあり、「将来的にはがんの種類別に、がんになる率と死亡率の減少、生存率の向上について適切な数値目標を設定すべきだ」との指摘も出た。(6/16)

◆75歳以上の運転免許 認知症で39人取り消し

警察庁の発表によると、昨年6月から75歳以上のドライバーの免許更新時に義務付けられた講習予備検査（認知機能検査）や高齢者講習で、これまで1年間に39人が「認知症」と診断を受け、免許取り消しとなったことが分かった。

検査や講習は、判断力や運動能力に問題が生じたお年寄りの事故を減らす目的で、昨年の改正道交法により規定された。警察庁は、自主的な免許返納制度などと併せ、事故抑制効果に期待を寄せている。

警察庁によると、75歳以上の免許保有者は昨年末時点で323万9,758人で、年々増加。1998年に始まった返納制度で免許を自主返納した人は、昨年1年間に2万8,087人だった。(7/15)

◆日本人寿命4年継続伸びる

厚生労働省が発表した「簡易生命表」によると、日本人の2009年の平均寿命は男性79.59歳、女性86.44歳で、いずれも過去最高を4年続けて更新したことが分かった。女性は25年連続の世界最長寿で、男性は5位だった。がん、心疾患、脳血管疾患の3大疾患と肺炎の死亡率が全体的に下がったことが影響し、前年の平均寿命より、男性は0.30歳、女性は0.39歳伸びて、前年の伸び（男性0.10歳、女性0.06歳）を大きく上回った。

厚労省によると、男性の平均寿命の1位はカタールの81.0歳（07年）で、前年より4.3歳伸びており、2位は香港で、アイスランドとスイスが続いた。女性は日本に次ぐのが香港で、フランス、スイス、スペインの順。日本人が3大疾患で死亡する確率は男性54.65%、女性51.84%で、いずれも前年より下がった。3大疾患が克服されると、男性は87.63歳、女性は93.43歳まで平均寿命が伸びるという。(7/27)

■平均寿命の上位5カ国・地域

【男性】	【女性】
①カタール 81.0歳	①日本 86.44歳
②香港 79.8歳	②香港 86.1歳
③アイスランド 79.7歳	③フランス 84.5歳
④スイス 79.7歳	④スイス 84.4歳
⑤日本 79.59歳	⑤スペイン 84.27歳

（各国政府の資料などをもとに厚生労働省がまとめた資料から作成）

◆サン・燐・参加でソーラーパネル設置され、七月十八日に記念式典が行われた。泉学区公衛協では、昨年より、ソーラーパネルを合言葉に太陽光発電システムの設置を計画してきた。記念式典では、町内会長らが挨拶に立ち、くす玉を割るなど、住民とパネルの設置を祝った。その後、子ども会によるバザーや各種出店もあり、矢田会館周辺は賑わいを見せた。

同町内会ではこれまで、資源回収による収益金を活用して、地域の住民が利用する集会所

にこのようないくつかの設備を設置する

ことで、温暖化やエネルギー

に関する問題、ごみの減量化、再資源化など、住民レベルで

の地球温暖化対策や取り組みを促すきっかけにしていく。

今後、集会所で消費する電力は、太陽光発電で賄われるところになる。泉学区公衛協会長の三宅義明氏は、「設置をして終了ではなく、ここから地球環境にやさしい生活が始まること」と今後の意気込みを語った。

（地域活動支援センター）

江田島市の鹿川小学校の児童が

地引網による海底ごみ拾いに挑戦した。ねらいは、海底ごみにつれて、豊かな生物の生き花

を保護するなど、住民とパネルの設置を祝った。その後、子ども会によるバザーや各種出店もあり、矢田会館周辺は賑わいを見せた。

同町内会ではこれまで、資源回収による収益金を活用して、地域の住民が利用する集会所

にこのようないくつかの設備を設置する

ことで、温暖化やエネルギー

に関する問題、ごみの減量化、再資源化など、住民レベルで

の地球温暖化対策や取り組みを促すきっかけにしていく。

今後、集会所で消費する電力は、太陽光発電で賄われるところになる。泉学区公衛協会長の三宅義明氏は、「設置をして終了ではなく、ここから地球環境にやさしい生活が始まること」と今後の意気込みを語った。

（地域活動支援センター）

江田島市の鹿川小学校の児童が

地引網による海底ごみ拾いに挑戦した。ねらいは、海底ごみ拾いに

よって、豊かな生物の生き花を保護するなど、住民とパネルの設置を祝った。その後、子ども会によるバザーや各種出店もあり、矢田会館周辺は賑わいを見せた。

同町内会ではこれまで、資源回収による収益金を活用して、地域の住民が利用する集会所

にこのようないくつかの設備を設置する

ことで、温暖化やエネルギー

に関する問題、ごみの減量化、再資源化など、住民レベルで

の地球温暖化対策や取り組みを促すきっかけにしていく。

今後、集会所で消費する電力は、太陽光発電で賄われるところになる。泉学区公衛協会長の三宅義明氏は、「設置をして終了ではなく、ここから地球環境にやさしい生活が始まること」と今後の意気込みを語った。

（地域活動支援センター）

江田島市の鹿川小学校の児童が

地引網による海底ごみ拾いに挑戦した。ねらいは、海底ごみ拾いに

よって、豊かな生物の生き花を保護するなど、住民とパネルの設置を祝った。その後、子ども会によるバザーや各種出店もあり、矢田会館周辺は賑わいを見せた。

同町内会ではこれまで、資源回収による収益金を活用して、地域の住民が利用する集会所

にこのようないくつかの設備を設置する

ことで、温暖化やエネルギー

に関する問題、ごみの減量化、再資源化など、住民レベルで

の地球温暖化対策や取り組みを促すきっかけにしていく。

今後、集会所で消費する電力は、太陽光発電で賄われるところになる。泉学区公衛協会長の三宅義明氏は、「設置をして終了ではなく、ここから地球環境にやさしい生活が始まること」と今後の意気込みを語った。

（地域活動支援センター）

江田島市の鹿川小学校の児童が

地引網による海底ごみ拾いに挑戦した。ねらいは、海底ごみ拾いに

よって、豊かな生物の生き花を保護するなど、住民とパネルの設置を祝った。その後、子ども会によるバザーや各種出店もあり、矢田会館周辺は賑わいを見せた。

同町内会ではこれまで、資源回収による収益金を活用して、地域の住民が利用する集会所

にこのようないくつかの設備を設置する

ことで、温暖化やエネルギー

に関する問題、ごみの減量化、再資源化など、住民レベルで

の地球温暖化対策や取り組みを促すきっかけにしていく。

今後、集会所で消費する電力は、太陽光発電で賄われるところになる。泉学区公衛協会長の三宅義明氏は、「設置をして終了ではなく、ここから地球環境にやさしい生活が始まること」と今後の意気込みを語った。

（地域活動支援センター）

江田島市の鹿川小学校の児童が

地引網による海底ごみ拾いに挑戦した。ねらいは、海底ごみ拾いに

よって、豊かな生物の生き花を保護するなど、住民とパネルの設置を祝った。その後、子ども会によるバザーや各種出店もあり、矢田会館周辺は賑わいを見せた。

同町内会ではこれまで、資源回収による収益金を活用して、地域の住民が利用する集会所

にこのようないくつかの設備を設置する

ことで、温暖化やエネルギー

に関する問題、ごみの減量化、再資源化など、住民レベルで

の地球温暖化対策や取り組みを促すきっかけにしていく。

今後、集会所で消費する電力は、太陽光発電で賄われるところになる。泉学区公衛協会長の三宅義明氏は、「設置をして終了ではなく、ここから地球環境にやさしい生活が始まること」と今後の意気込みを語った。

（地域活動支援センター）

江田島市の鹿川小学校の児童が

地引網による海底ごみ拾いに挑戦した。ねらいは、海底ごみ拾いに

よって、豊かな生物の生き花を保護するなど、住民とパネルの設置を祝った。その後、子ども会によるバザーや各種出店もあり、矢田会館周辺は賑わいを見せた。

同町内会ではこれまで、資源回収による収益金を活用して、地域の住民が利用する集会所

にこのようないくつかの設備を設置する

ことで、温暖化やエネルギー

に関する問題、ごみの減量化、再資源化など、住民レベルで

の地球温暖化対策や取り組みを促すきっかけにしていく。

今後、集会所で消費する電力は、太陽光発電で賄われるところになる。泉学区公衛協会長の三宅義明氏は、「設置をして終了ではなく、ここから地球環境にやさしい生活が始まること」と今後の意気込みを語った。

（地域活動支援センター）

江田島市の鹿川小学校の児童が

地引網による海底ごみ拾いに挑戦した。ねらいは、海底ごみ拾いに

よって、豊かな生物の生き花を保護するなど、住民とパネルの設置を祝った。その後、子ども会によるバザーや各種出店もあり、矢田会館周辺は賑わいを見せた。

同町内会ではこれまで、資源回収による収益金を活用して、地域の住民が利用する集会所

にこのようないくつかの設備を設置する

ことで、温暖化やエネルギー

に関する問題、ごみの減量化、再資源化など、住民レベルで

</